

群馬県立万場高等学校 学校評価一覧表 ① (平成21年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 生徒のニーズに合った教育課程を実践していますか。	①少人数指導や習熟度別指導などのきめ細かな指導に満足している生徒が80%以上である。	少人数制や習熟度別、チームティーチング(TT)による授業を積極的に取り入れると共に、指導の方法や内容を評価検討し改善する。 各コースの特徴を生かした教育課程の編成に努める。また専門教科・科目の授業内容を検討工夫して魅力あるものにする。 学習活動に盛り込む体験活動や地域の自然や文化について、興味や関心を高める教材を工夫研究して授業に反映させる。 地元 住民の方に講師をお願いしたり、体験的創作的な要素を盛り込み、より身近なものとして展開する。 中高 双方向での交流授業や出前授業を各教科で計画し、積極的に実施する。 一人ひとりの生徒に対応した、丁寧で興味を引き出す授業の実践と教材を工夫する。 図書部とも連携し、読書の面白さや有用性を実感させる。 生徒個々の特性と目標を把握した上で授業や補習を行うと共に、授業見学や研究授業により授業力の向上を図り、基礎的基本的な学力の確実な定着と向上を図る。 検定、資格取得の意義を理解させ、放課後の補充指導などを充実する。	A	A	少人数指導や習熟度別授業などのきめ細やかな指導を今後も継続して充実を図る。			
		②コース別の特色ある学習活動に満足している生徒が80%以上である。		A	A	今後も4コースの特徴を活かすような学習を行い、授業内容を検討改善し充実を図る。			
	2 地域に根ざした学習活動は充実していますか。	③豊かな体験活動や地域の自然、文化・歴史などの学習に興味を持ち、面白いと考えている生徒が75%以上である。		A	A	豊かな体験学習や地域学習ができるような教材の工夫や生徒の興味・関心を高められるようにする。			
		④地域の伝統文化を尊重するいろいろな活動により、伝統文化に関する理解が深まったと考える生徒が75%以上である。		A	A	地域の伝統文化に関して理解が深まるような体験的活動を検討し実践する。			
3 中高一貫教育に積極的に取り組んでいますか。	⑤交流授業や授業公開を行った教科が全体の80%以上である。	2回目 で評価	—	各教科で中学と連絡を取り合いながら交流授業などの計画を立てる。					
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①各種の学習活動に対して、達成感や成就感を感じている生徒が75%以上である。	A	B	学習内容などを精選し、段階的に理解できるような工夫を行う。				
		②毎日の「朝読書」に真面目に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	学級図書を活用し、読書の面白さや有用性を実感させる。				
	5 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	③授業が分かりやすいと感じている生徒が80%以上である。	A	A	今後とも、授業改善を推進し、わかりやすい授業を実践する。				
		④基本的な学力が付いてきたと実感する生徒が75%以上である。	B	B	生徒の基礎的基本的な学力が向上するように授業力の向上を図る。				
		⑤検定合格や各種資格の取得を目指すコースで積極的に取り組んでいる生徒が各コースとも75%以上である。	B	C	資格取得の意義を説明し、合格することによる達成感を味合わせる。				
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①生徒の状況把握と指導方針を検討する機会を月に3回以上設けている。	A	—	生徒指導会議を出来る限り多く実施し、生徒に関する情報・状況の共通理解を基にきめ細かく生徒指導に当たる。				
		②毎日の学校生活の中で、挨拶をしっかりと行っていると思う生徒が75%以上である。	D	A	授業時の挨拶や校内での挨拶励行に継続して取り組んでいく。				
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	③年間の欠席率を前年度数値より0.5%減らす。	A	—	学校・保護者との連絡を密に行い、連携して欠席防止に当たる。				
		④毎日規則正しい生活を送っていると思う生徒が75%以上である。	D	C	保護者と連携しながら、生活習慣の育成・改善に努める。				
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 体験的・計画的な指導を行っていますか。	①企業・学校見学を有意義だと思える生徒が80%以上である。	A	A	地理的な問題を考慮した上で外部活動を増やし、体験学習の充実をはかる。				
		②インターンシップに参加し、有益な体験であると思える生徒が80%以上である。	A	A	生徒の主体性を考慮し、進路指導に直結するようなインターンシップ見直しをはかる。				
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	③自分にあった進路目標を真剣に考えようとしている生徒が75%以上である。	C	C	自己理解と適性が認識できるような指導を研究・実施し、自己の価値観の認知を図る。				
		④進路希望を実現する生徒が80%以上である。	2回目 で評価 —	—	面談や家庭との協力を綿密にコミュニケーションを増やし、進路実現を目指す。				
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①「学校公開」や「公開授業」を年3回以上実施している。	A	—	今後とも引き続き開かれた学校づくりを積極的に推進する。				
		②学校のホームページやたよりを見て、学校の運営方針に関心を寄せる保護者が75%以上である。	—	C	学年便りや保護者会などを通じてホームページや携帯サイトを周知していく。				
		③図書館や体育館などの学校施設を月3回以上開放している。	A	D	広報や有線放送などのメディアを利用して周知に努める。				